

中里小学校 学校だより

おおくす

令和7年5月14日

第3号

文責 大石泰文

学校教育目標：夢をもち、みんなと共に生きる子どもの育成～中里仲良し（共に学び、共に育つ）～

大切ないのちを守るために



交通安全教室

5月9日(金)共立自動車学校から3名の方にゲストティーチャーとして来ていただき、全学年が交通安全教室を実施しました。

1年生～3年生は、横断歩道や踏切の横断の仕方について、映像とクイズで楽しく学ぶことができました。

「横断歩道はどんなふうにわたっていますか？」という質問に「手をあげてわたっています。」と答える子どもたちでしたが、車を運転している人からも分かるように、まっすぐ手をあげることがポイントのようです。

そして、講師の先生から横断歩道では、1回止まって右左確認してからわたってくださいとご指導いただきました。

4年生～6年生は、自転車の乗り方、ヘルメットのかぶり方、自転車の点検についてご指導いただきました。

「自転車安全利用5則」というものがあり、子どもたちはあらためて確認することができました。その5則とは、

- ① 自転車は車道を通ること
- ② 自転車は道路の左側を通ること
- ③ 歩道は歩行者優先
- ④ 安全ルール(二人乗り禁止、並んで走らないなど)を守ること
- ⑤ 子どもはヘルメットをかぶること

です。子どもたちの真剣な表情から「自分のいのちは自分で守る。」という意識が高まった様子が見受けられました。



中里小学校の周辺は交通量が大変多いところです。特に、学校前のグリーンロードは、午前7時から午前8時30分まで一方通行となり、相浦方面への近道となっているためか車もかなりスピードを出しています。相浦警察署にパトロールを依頼している場所でもあります。

「一列登校」「歩いて登校」「中里駅は通りません」の合言葉は引き続き学校でも指導を続けていきますがご家庭でもお話ください。事故に巻き込まれてからでは手遅れです。路側帯(白線)の中を一列になって走らないで、ということが自然に出来る中里っ子になってほしいと思います。

避難訓練

5月1日(木)避難訓練を実施しました。令和7年度第1回目となる今回は職員室から火災が発生したという想定で行いました。

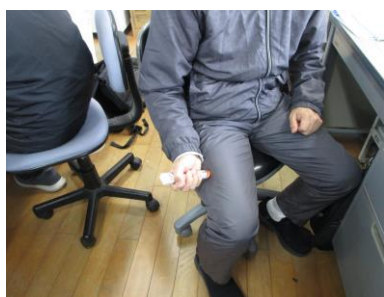
避難の様子を観察していましたが、どの学年も「おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない」という「おはしも」の約束を守って参加することができていました。

講話の中で、避難訓練の目的の振り返りを行い、佐世保市の火災発生状況等について子どもたちに考えてもらいました。

また、火遊びは絶対にしてはいけない、と話しています。



職員研修でも・・・



子どもたちの大切ないのちを守るために、学校では様々な職員研修を行っています。

まず、4月初めに行ったのがアレルギー対応時に必要な「エピペン」の使い方の研修です。実際にやってみると「どこに」「どれくらいの時間」「どれくらいの力加減で」ということが体感として分かります。

また、先日は西消防署の方をゲストティーチャーとしてお招きし、救命救急の講習を行いました。

校内にはAEDを設置してある場所が3か所あります。万が一の時にどのように対応するのか。コロナ禍の影響で、ずいぶん長い間このような研修を受けていなかったことに気がつきました。

やはり、実際にやってみる・触ってみるというのは本当に大事ですね。対応の仕方がうろ覚えのところがあり、改めて研修の大切さを再確認した次第です。

学校の安全性を揺るがすようなニュースが多く、子どもたちの安全・安心を守るためにはどのような事ができるか、悩ましい毎日です。

本校では「(部外者の侵入をできるだけ防ぐため)登校時以外の閉門」「職員の防犯笛の着用」「防犯カメラの増設」等できることから取り組んでいるところです。

地域の方の見守りも心強いサポートとなりますので、下校時のゆるやかな見守りも引き続きよろしくお願い致します。

民生委員会によるあいさつ運動

今週は、中里皆瀬地区民生委員会よりお越しいただき、毎日あいさつ運動を行っていただいております。

これは、昨年度から実施している取組で、子どもたちに顔を覚えてもらうこと、子どもたちと民生委員の皆様とのつながりを深めることを意図して行っているものです。

大変お忙しい中、ありがとうございます。

